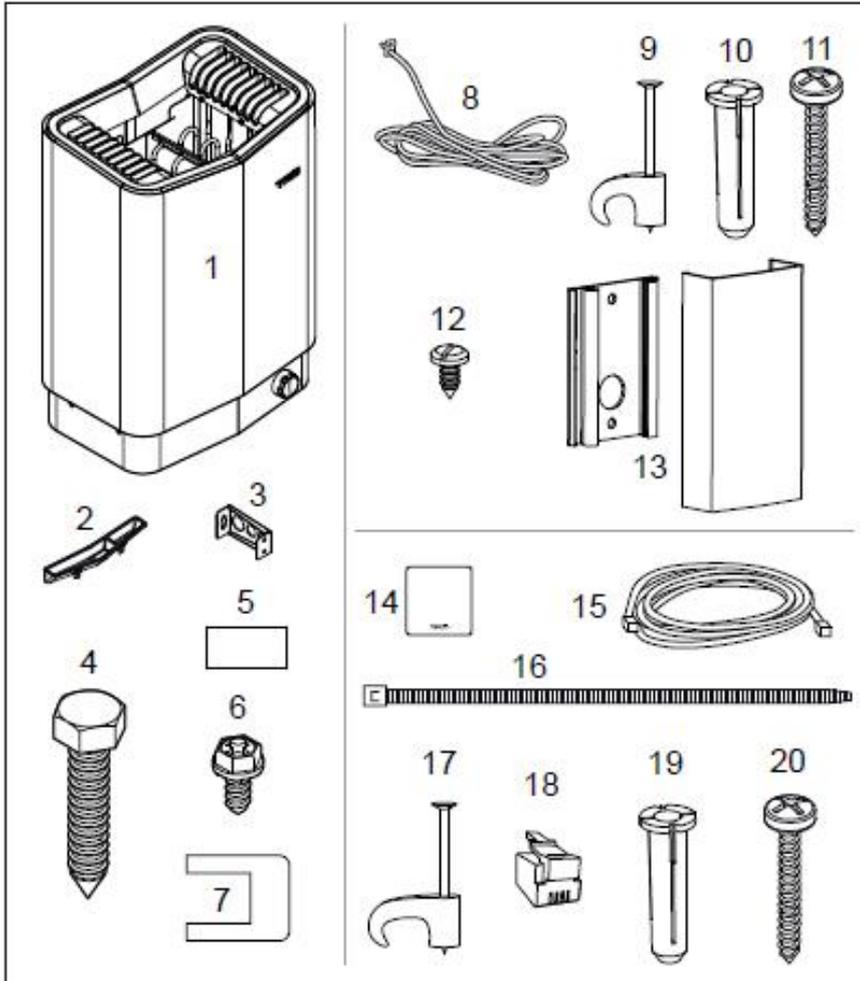


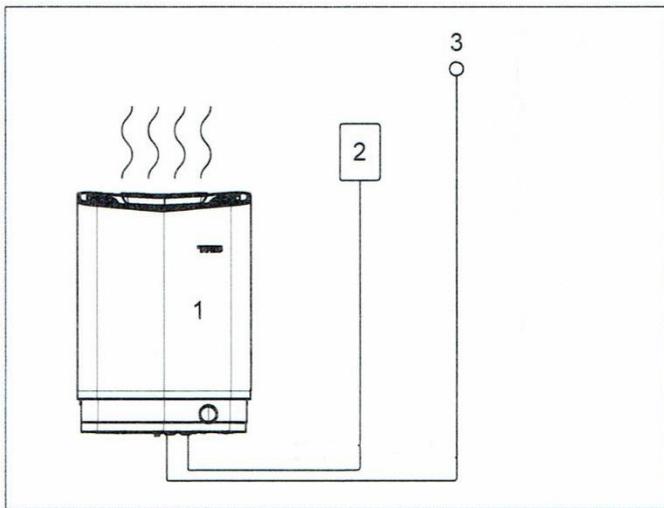
SENSE PURE 仕様書

SENSE PURE 同梱付属品



1. ヒーター本体 1個
2. アロマボール 1個
3. 壁掛け用金具 4個
4. 壁掛け用ボルト 1個
5. 危険シール(日本語版はありません)
6. 本体用予備ネジ 1個
7. 短絡端子 3個
8. 温度センサーケーブル 1個
9. 温度センサー用止めクリップ 10個
10. プラスチックプラグ 2個
11. 予備用ネジ
12. 予備用ネジ
13. センサーカバー
14. PURE リモコン(コントロールパネル)
15. 本体とリモコンをつなぐケーブル
16. プラスチック結束バンド
17. センサー止めクリップ(予備) 10個
18. モジュラープラグコネクタ 2個
19. プラスチックプラグ(予備)
20. 予備用ネジ

## サウナヒーターの設置についての注意点

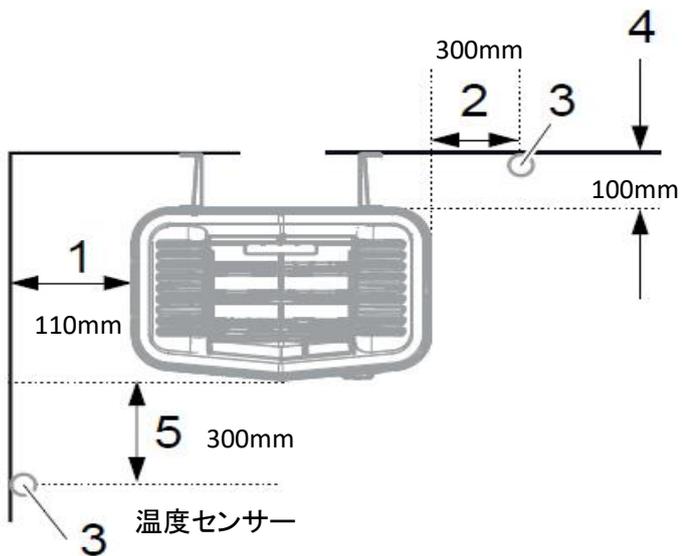


### 配線について

1. サウナヒーター本体
2. リモコン(サウナルームの外に設置してください)
3. 温度センサー

※リモコンはサウナルームの外に設置される事を推奨します。  
(高い位置(温度が高い所)に設置した場合、熱さでリモコンの基盤が壊れる恐れがあります)  
またロウリュされる際に想定外の温度になる場合があります、その場合リモコン裏側のプラスチック部分が溶ける恐れがあります。

## サウナ本体周りについての注意点



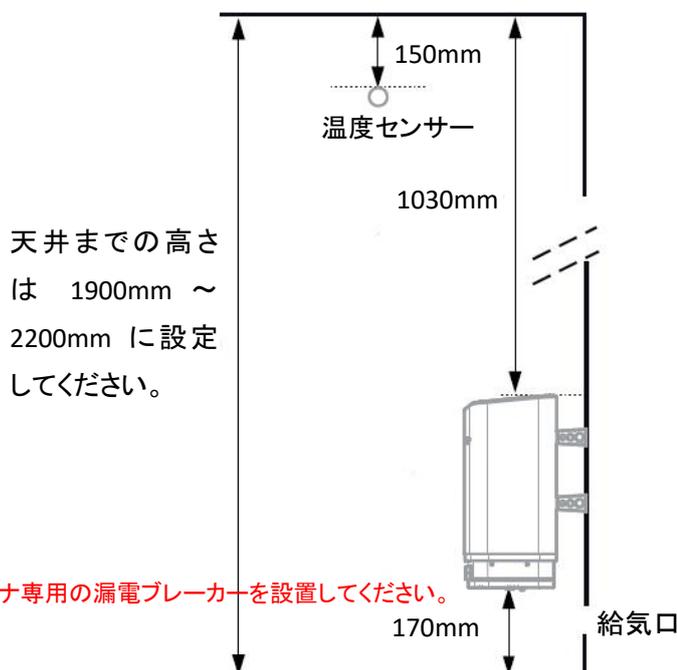
1. サウナ本体は左右側面、ベンチから最低 110mm 離して設置してください。
2. 温度センサーとサウナ本体の間は 300mm 離して設置してください。(サウナ本体真上への設置はおやめください。)
3. 温度センサーの位置は天井から 150mm 離して設置してください。
4. オプションでサウナフット(サウナの足)を使う場合には、後ろの壁から 100mm 離して設置してください。
5. 温度センサーをサウナ本体のフロント部分に設置する際も 300mm 離して設置してください。

・サウナヒーター本体は床から 170mm 離して設置して頂き、機械の下に給気口を設置してください。サウナヒーター本体の熱をにがす為、本体機器の真下に設置して頂く必要があります。

・天井からサウナ本体上部まで最低でも 1030mm 離して設置してください。

・温度センサーは天井から 150mm 離して設置してください。

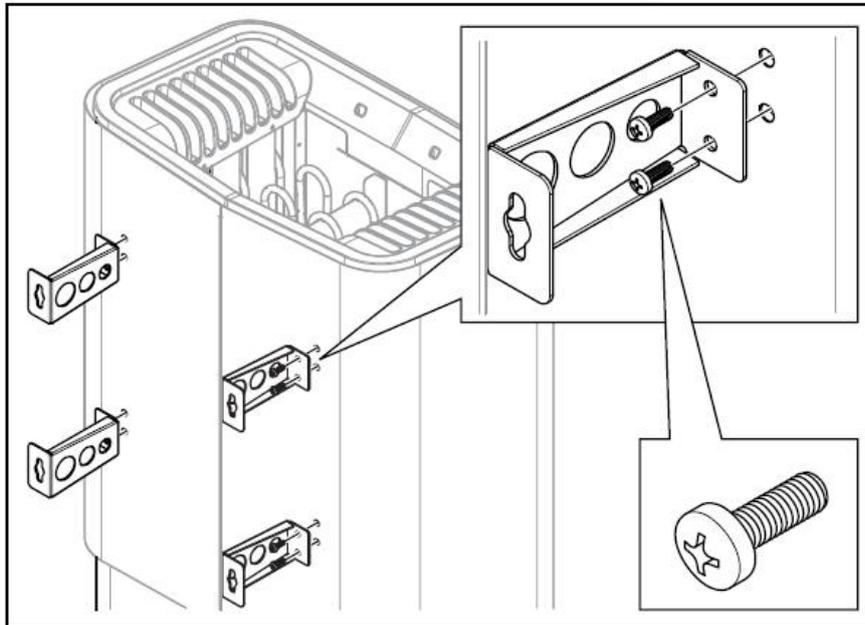
・給気は屋外からの空気は取り込めません。ご注意ください。



天井までの高さは 1900mm ~ 2200mm に設定してください。

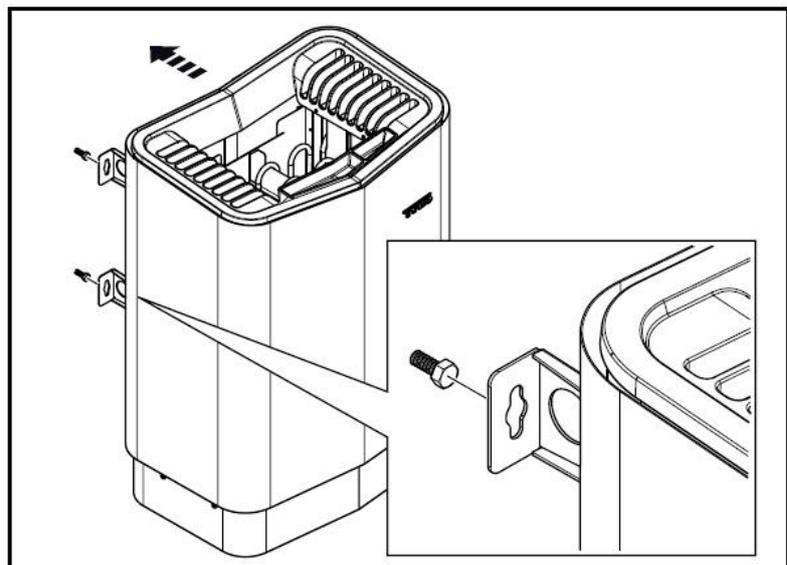
※サウナ専用の漏電ブレーカーを設置してください。

## サウナヒーターの壁への取り付け方



※本体にあらかじめ付いているボルトをはずして、ブラケットを取り付けるにはヘックスローブビット T-20が必要になります。

ヘックスローブビット T-20は同梱されておりませんので、ユーザー様の方でお買い求めください。

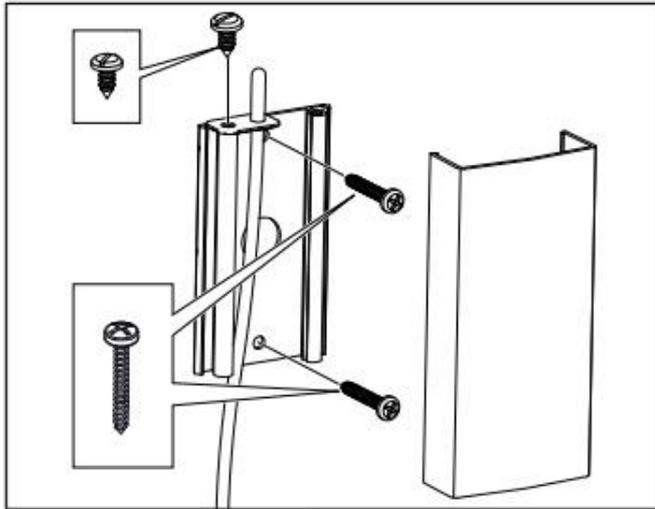


壁かけ用金具とボルトが付属品で付いておりますので上図を参照し取り付けをおねがいします。

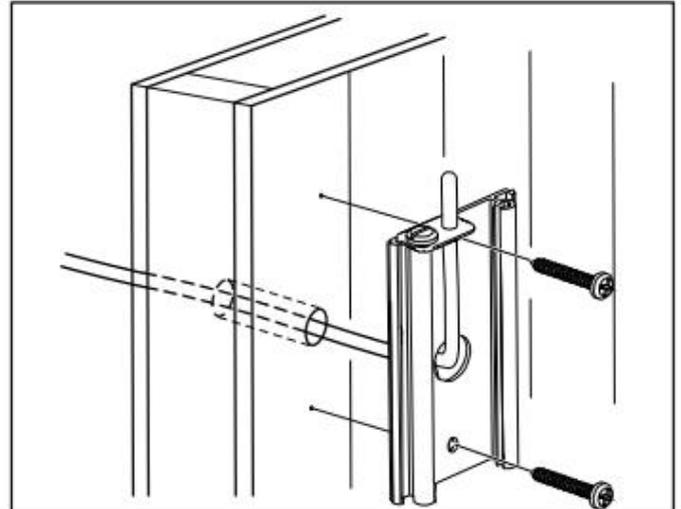
また、壁掛けではなくサウナフット(別売品)を付けて配置していただく事もできます。

こちらはオプションになりますので、詳しい事は弊社までお問い合わせください。

## 温度センサーカバーの取り付け方法

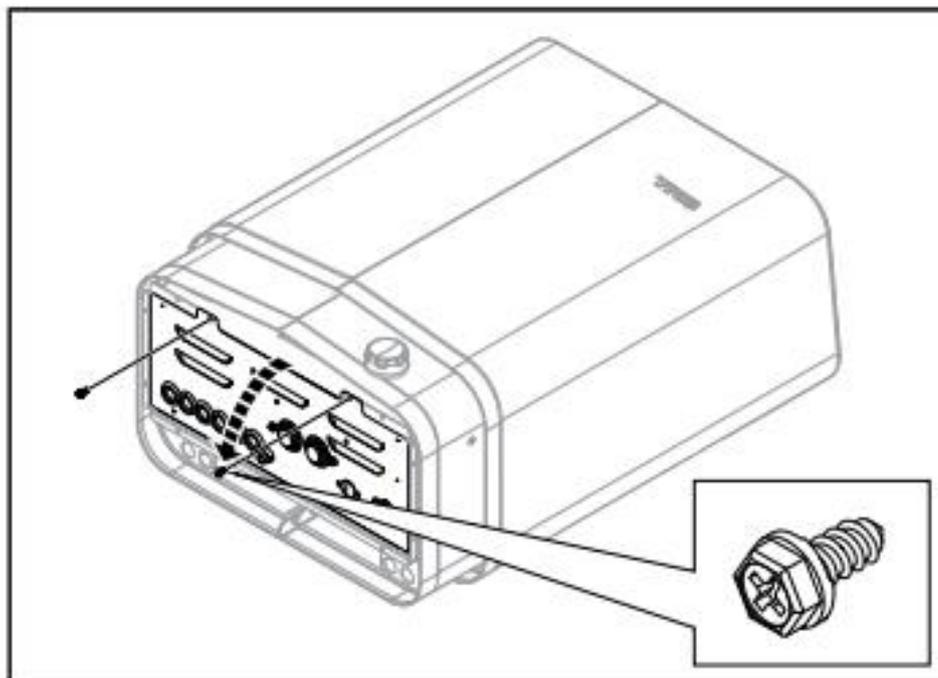


温度センサーをサウナルーム内で配線される場合は上図のように設置してください。



温度センサーの配線をサウナルーム壁の外側に設定される場合は上図のように設置してください。

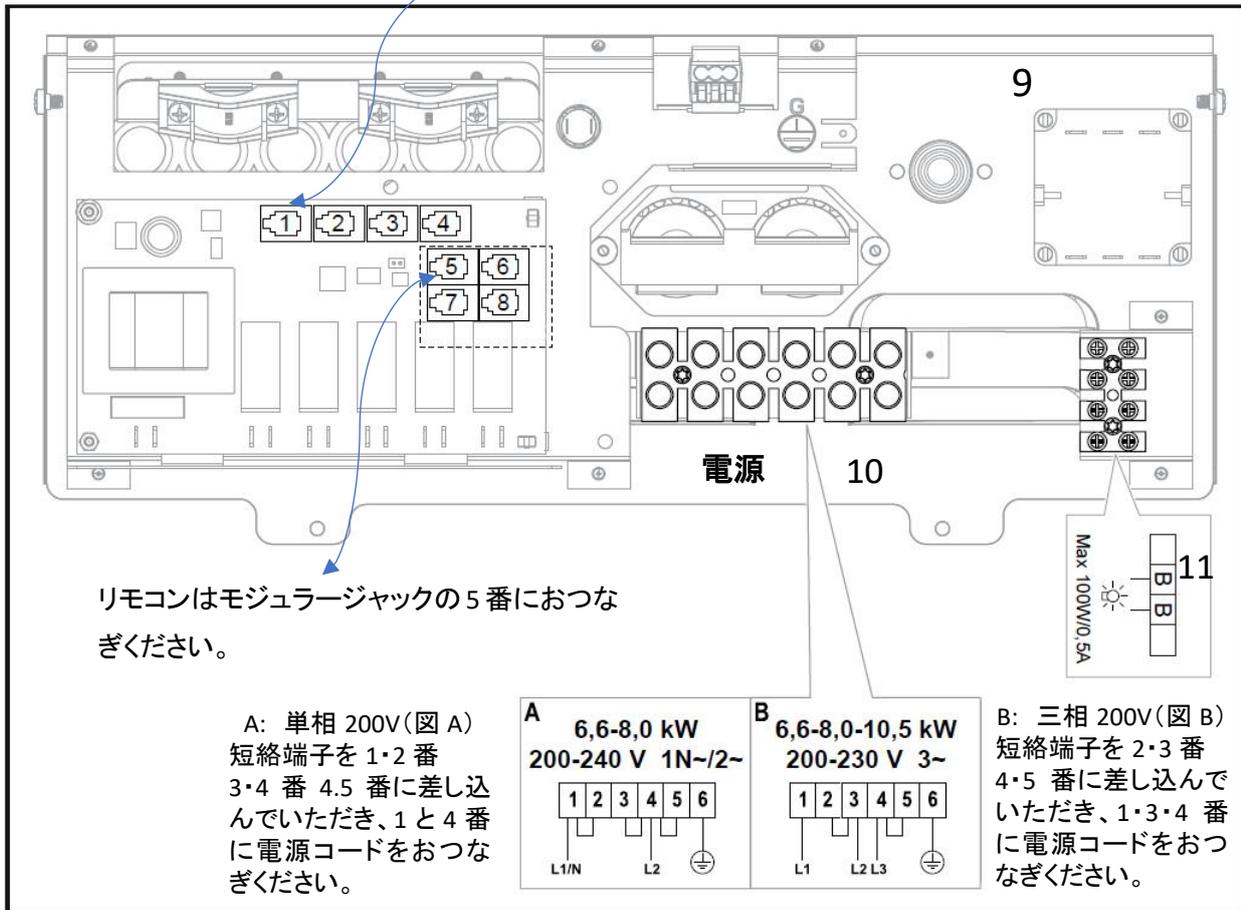
## サウナ機器本体 各種スイッチの説明



サウナ機器本体の下部、上図にありますカバーを取り外して下さい。

カバーを取り外していただき、下図を参照していただき配線・設定をお願いします。

温度センサーはモジュージャックの 1 番におつなぎください。  
(1 番の接触が悪い場合は4番におつなぎください。)



電源 200V 線は強固に結線してください。緩いと故障の原因になります。  
モジュラープラグもカチッと音がするまで、奥に差し込んでください。

1. 温度センサー
2. 外部スイッチ(オプション)
3. ドアスイッチ(オプション)
4. センサー(オプション)
- 5.~8. リモコンジャック  
(6 番~8 番もリモコンジャックとしてお使いいただけます。)

9. ヒーター本体
10. 電源(上記、単相・三相でのつなぎ方をご参照ください。)
11. 室内の灯り用電源は BB 端子をお使い下さい。  
☆LED ライト(別売/メーカー純正品)使用の場合、LED ドライバー(別売品)が必要になります。(接続方法:BB→LEDドライバー→LEDライト)

※サウナ専用の漏電ブレーカーを設置してください。

※10.5kW は三相専用です。

型式	SENSE PURE
出力	6.6kW / 8kW / 10.5kW
電源	単相 200V または三相 200V
適応容積	3~8 立米(6.6kW) 6~12 立米(8kW) 10~18 立米(10.5kW)
操作パネル	PURE

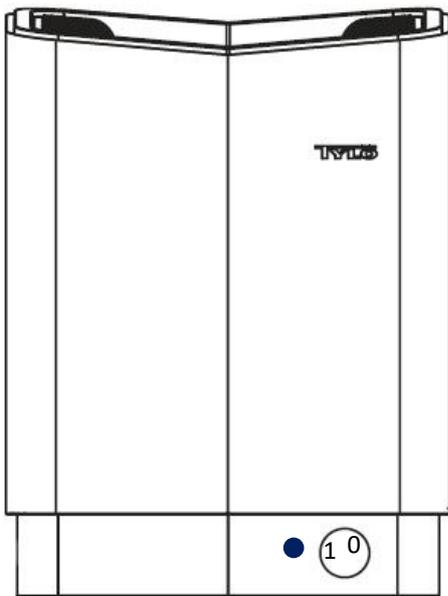
サウナヒーター		SENSE PURE		
kW		6.6kW	8kW	10.5kW
単相 200V	amp	33	40	-
	mm2	8	8	-
三相 200V	amp	19	23	32
	mm2	4	4	8

6.6kW / 8kW / 10.5kW 共に 重量 17.0kg

サウナストーン: 約 20.0kg

TYLO社のサウナヒーターは全機種において機器本体に内蔵の温度センサーが47度以上を感知すると、自動的に電源が落ちる仕組みで安全性を高めています。

## 本体操作について



配線後サウナ本体右下にある主電源を回し、電源を入れてください。

1に合わせるとスイッチオン

0に合わせるとスイッチオフになります。

その後は全てリモコン操作で行ってください。

本体のお手入れ

サウナストーンの入れ物の中に、小さなサウナストーンが溜まりますと故障の原因となります。

1年に1回など定期的にお掃除をお願いします。

1. サウナ機器が完全に熱を持っていない事を確認してください。
2. サウナストーンを取り出していただいて、小さなサウナストーンがありましたら捨ててください。
3. 最後にサウナストーンを戻してください。

## 加湿（ロウリュについて）

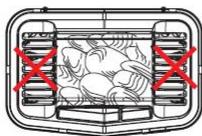
TYLÖサウナヒーターはサウナヒーターの石の部分に水を掛けて加湿をして楽しんでいただけます  
石が十分に熱されてから（運転開始後30分以上）までお待ちいただき、ひしゃくなどで水を掛けて下さい

※石が十分に熱されていない状態で水を掛けると本体内部に水が入り込み故障の原因となります。

下記図のAとBの部分は水が溜められるようになっていてA・Bに溜めて加湿を楽しむことも出来ます。

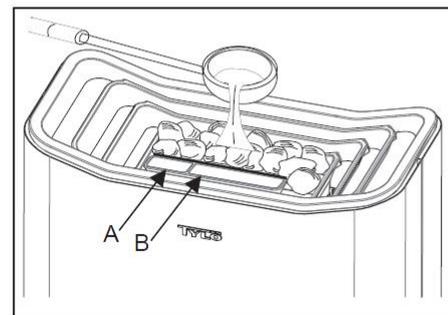
### ※加湿する場合の注意点

石に直接水を掛ける時は跳ね返りに気を付けて少量ずつ掛けてください（50ml程度）石が十分に熱されていない状態で水を掛けると、機械の内部に水が入り込み故障の原因となります。



左図が示す ×印がついているヒーター部分には絶対に水は掛けないで下さい、故障の原因となります。

一回に石に掛ける水の量は  
30ml ~ 50ml にしてください



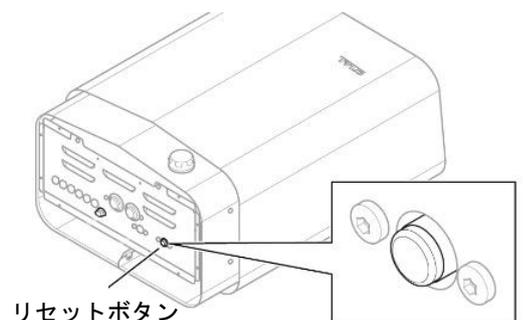
A・Bには溢れない程度に水を入れてください

※電源を入れてもリモコン表示が消え、サウナが動かない場合  
サウナ本体にサウナの温度異常上昇を防ぐ為に安全装置が付けてあります。

稀にその装置が働き操作出来ない事がございます。

その場合にはサウナ本体の下部に**赤いリセットボタン**がありますので、**強く押しリセット**してください。

その際はサウナ本体の熱が完全に冷めた状態で作業をしてください。



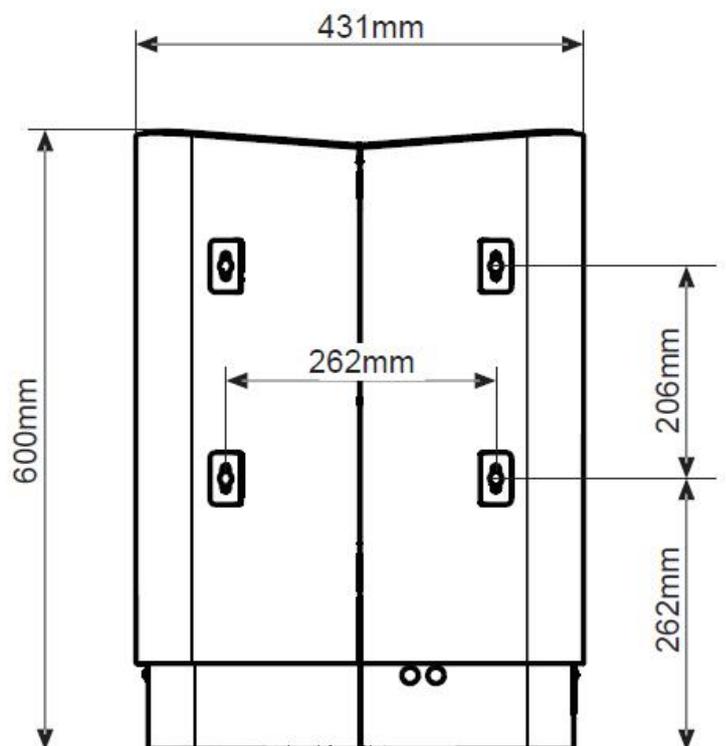
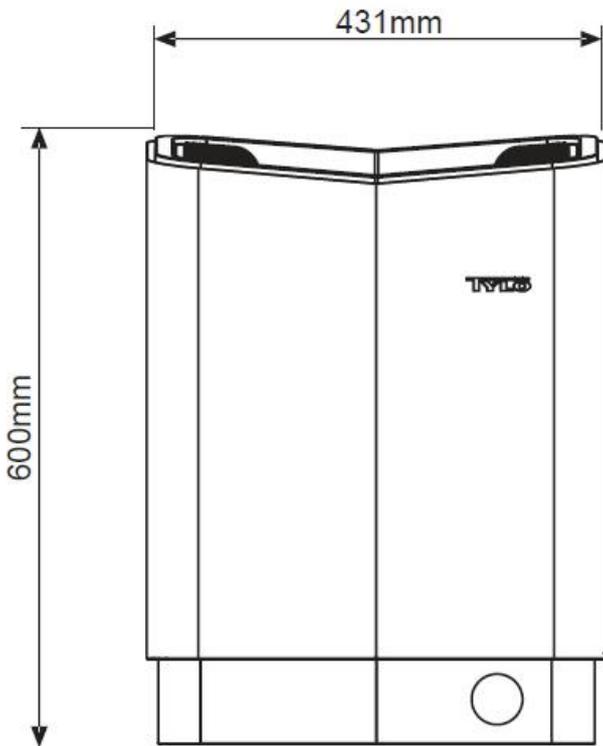
リセットボタン

SENSE PURE サウナヒーター本体サイズ

正面図

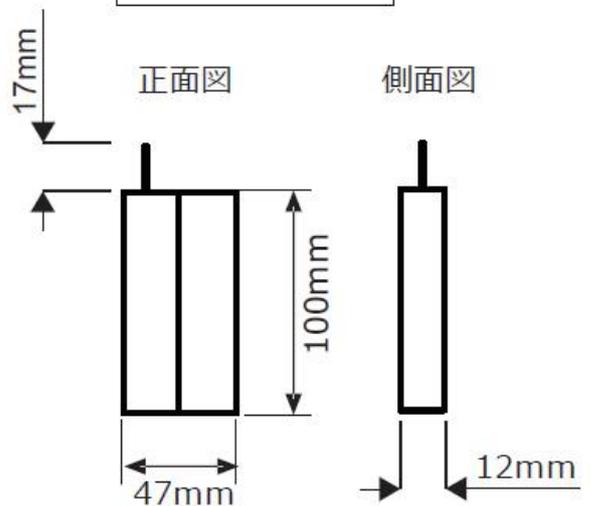
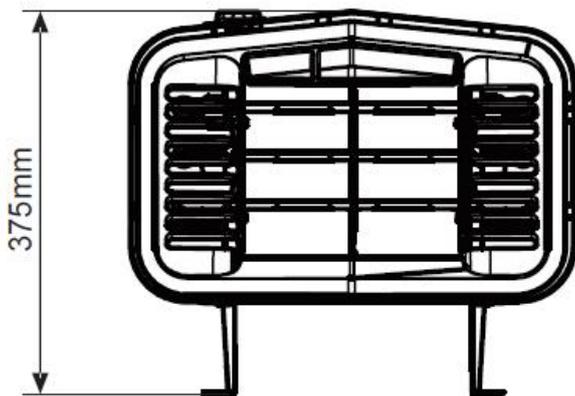
背面図

6.6kW / 8kW / 10.5kW 共通になります



上面図

温度センサーサイズ



操作パネルサイズ



W:85mm  
H:127mm  
D:12mm